第84期報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日

株式会社朝日工業社



当期のポイント

受注高 **71,432**百万円 (前年比**13.1**%增)

売上高 **59,496**百万円 (前年比**12.1**%減)

営業利益 △ 1,454 a 5 円 (前年比 1,912 a 5 円減)

当期純利益 △**1,067**百万円 (前年比**1,163**百万円減)



Top Message

トップメッセージ

利益最重視を一層強力に推進して業績の回復を図り、将来の基盤づくりを進めていきます。

代表取締役社長 髙須 康有

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り 厚く御礼申し上げます。

ここに、第84期報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の事業環境と業績

当期における国内景気は、東日本大震災の復興関連需要等の下支えや堅調な個人消費を背景に緩やかに持ち直す動きが見られましたが、欧州の債務問題に絡む混乱や中国等海外経済の減速が輸出や生産に下押し圧力となり、物価の動向もマイナス基調が継続するなど、総じて弱含みで推移しました。

当社グループの事業環境は、設備工事事業では、 設備投資の堅調な伸びが期待されたところ弱含みに 推移し、受注をめぐる価格競争は前期と同様厳しい 状況でした。精密環境制御機器の製造販売事業は、 半導体製造装置向けが比較的順調でしたが、フラットディスプレー向けの液晶製造装置では、小型パネル向けが堅調であったものの、大型パネル向けは世 界的な市場の冷え込みによる設備投資の大幅な減少 の影響を受け、生産および販売の両面で大きく減少 しました。

こうしたなか、当社グループは受注の確保と収益の 向上に総力を上げて取り組みましたが、設備工事事 業では激しい受注価格競争により工事採算が悪化し、 機器製造販売事業でも売上が大幅に減少したことか ら、当期は、受注高が714億3千2百万円(前年比 13.1%増)、売上高が594億9千6百万円(前年比12.1%減)となりました。また、損益の面では、営業損失が14億5千4百万円、経常損失は13億9百万円、当期純損失は10億6千7百万円となりました。

今後の取組み

当期は誠に遺憾ながら最終損益で純損失となりました。この結果を真摯に受け止め、喫緊の課題として収益力の強化および徹底した経費削減に取り組んでまいります。設備工事事業では、完成時の利益を重視したうえで受注量を確保し、将来性のある市場や顧客を開拓してまいります。受注時には厳密な原価検討と選別受注を徹底するとともに、施工段階での更なる原価低減と利益確保を実現するために新たな利益管理体制を構築いたします。機器製造販売事業では、半導体と液晶の市場動向の影響を最小限にするため、営業体制の見直し、ターゲットを絞った新製品・新技術の開発、新たな市場と顧客の開拓に注力してまいります。

当社グループは「利益重視」を経営の基盤としておりますが、更なる「企業体質の強化、企業価値の向上」と「持続的成長」を図るため、営業、技術、管理等の事業遂行に関わる全ての部門の力を結集し、業績の回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご 指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

朝日工業社のCSR活動

マレーシアに子会社を設立

ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN.BHD. は、当社の100%出資子会社として2012年11月に、マレー シアのクアラルンプールに設立されました。

同社は、朝日工業社が創業以来、一貫して取り組んできた「人々の豊かな暮らしと社会の発展に寄与する快適環 境・最適空間の創造 | の精神を受け継ぎ、「空気・水・熱の科学に基づく高度な技術 | のプロフェッショナルとして、 お客様や社会に信頼される企業を目指してまいります。







AEMの事務所があるビル

| 会社概要 | |
|--------|--|
| 商号 | ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN. BHD. |
| 所 在 地 | A-30-3A, Menara UOA Bangsar No.5, Jalan Bangsar Utama 1, 59000 Kuala Lumpur, Malaysia |
| 代 表 者 | 機野 一智 |
| 設立年月日 | 2012年11月6日 |
| 資 本 金 | 100万リンギット (平成25年5月に50万リンギットから増資) |
| 決 算 期 | 12月31日 |
| 出資比率 | 当社100% |
| 主な事業内容 | マレーシアにおける空気調和および給排水衛生設備工 事事業ならびにそれに付随する事業 |

社長 磯野一智

マレーシアには既に多くの日本企業が進出 していますが、今なお日本企業が進出して事 業を展開、拡大していく余地があることから ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN.BHD. (以下、「AEM」といいます。) は 設立され、私が初代社長に就任しました。

マレーシアに進出している日本企業が工 場、特に精密部品等の生産工場を建設する 場合は日本の空調衛生設備会社がもつ高度 な技術とサービスを必要とするため、AEMで は朝日工業社の支援を受けながら、地元に 密着して着実に実績を積み上げていく所存で す。また、AEMが朝日工業社グループの東 南アジアにおける拠点としての役割を果たせ るよう頑張ってまいります。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



集団献血を実施

当社では、本社・本店および機器事業部において赤 十字血液センターによる集団献血を実施しました。本 社・本店は本社の会議室に臨時の献血会場を設営し、 機器事業部は船橋の工場まで献血バスに出張してもら いました。

献血に対する関心の高さのあらわれか、平日の日中に もかかわらず多くの役職員が業務の日程を調整して献血 に協力しました。

当社は、献血の他にも各事業店がその地域に根差した 社会貢献活動に継続して取り組んでおり、今後も積極的 に全社を挙げて社会貢献活動に参加してまいります。



財務ハイライト



連結財務諸表(要約)

貸借対照表

| 単位:百万 | | |
|--------------|----------------------------|----------------------------|
| | 当期末 平成25年3月31日現在 | 前期末 平成24年3月31日現在 |
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 40,038 | 43,998 |
| 固定資産 | 13,642 | 12,461 |
| 有形固定資産 | 4,642 | 4,765 |
| 無形固定資産 | 276 | 336 |
| 投資その他の資産 | 8,722 | 7,359 |
| 資産合計 | 53,680 | 56,460 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 32,130 | 34,130 |
| 固定負債 | 2,298 | 2,466 |
| 負債合計 | 34,428 | 36,596 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 17,979 | 19,526 |
| 資本金 | 3,857 | 3,857 |
| 資本剰余金 | 3,721 | 3,721 |
| 利益剰余金 | 11,139 | 12,685 |
| 自己株式 | △ 738 | △ 738 |
| その他の包括利益累計額 | 1,272 | 336 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,317 | 488 |
| 為替換算調整勘定 | △ 45 | △ 151 |
| 純資産合計 | 19,251 | 19,863 |
| 負債純資産合計 | 53,680 | 56,460 |

損益計算書

単位:百万円

| | 当期 平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで | 前期 平成23年4月 1日から 平成24年3月31日まで |
|----------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高 | 59,496 | 67,671 |
| 売上原価 | 56,154 | 62,326 |
| 売上総利益 | 3,341 | 5,345 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,796 | 4,887 |
| 営業利益 | △ 1,454 | 458 |
| 営業外収益 | 227 | 255 |
| 営業外費用 | 81 | 98 |
| 経常利益 | △ 1,309 | 614 |
| 特別利益 | 24 | 12 |
| 特別損失 | 25 | 45 |
| 税金等調整前当期純利益 | △ 1,309 | 580 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 161 | 150 |
| 法人税等調整額 | △ 404 | 334 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | △ 1,067 | 96 |
| 当期純利益 | △ 1,067 | 96 |

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| | 当 期 平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで | 前期 平成23年4月 1日から 平成24年3月31日まで |
|-------------------------|--|------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 2,059 | △ 5,098 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 886 | △ 311 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 577 | △ 2,020 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | 106 | △ 63 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 702 | △ 7,493 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 6,926 | 14,420 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 7,629 | 6,926 |

財務の詳しい内容は、当社ウェブサイトからご確認いただけます。 朝日工業社

検索

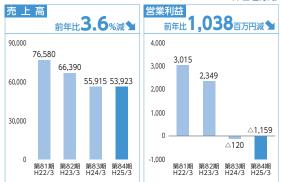
■セグメント情報

売上高構成比 機器製造販売事業 5.572 百万円 売上高 59.496百万円 9.4% 設備工事事業 53,923 百万円 90.6%

■設備工事事業

事業内容:空気調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備 に関する諸設備の設計、施工および監理

(単位:百万円)



■機器製造販売事業

事業内容: 半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の 製造販売





会社の概況

(平成25年3月31日現在)

株式会社朝日工業社 ASAHI KOGYOSHA CO..LTD.

大正14年4月3日 創

設 17 昭和15年8月8日

資 3.857.100千円 本

表 代表取締役計長 髙須康有 920名(連結)、891名(単体)

事業内容 ■設備丁事事業

■機器製造販売事業

本社および本店(東京都港区)

大阪支社 (大阪市淀川区) 支店8ヶ所、営業所29ヶ所 機器事業部 (千葉県船橋市) 技術研究所(千葉県習志野市)

国土交通大臣許可(特-21)第2822号 建設業許可

管工事業、電気工事業、

機械器具設置工事業、建築工事業

国土交通大臣許可(般-21)第2822号 消防施設工事業

連結子会社

(平成25年3月31日現在)

玉 北海道アサヒ冷熱丁事株式会社

旭栄興産株式会社

亞太朝日股份有限公司

ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN. BHD.

株式の状況

(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 78.198千株 発行済株式の総数 34,000千株 株主数 3.387名

大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 朝日工業社共栄会 | 2,113 | 6.61 |
| 朝日工業社西日本共栄会 | 1,997 | 6.25 |
| 朝日工業社従業員持株会 | 1,647 | 5.15 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,585 | 4.96 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,567 | 4.90 |
| 農林中央金庫 | 1,440 | 4.50 |
| 髙須康有 | 1,019 | 3.19 |
| 髙須佳子 | 540 | 1.69 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 482 | 1.50 |
| 小野薬品工業株式会社 | 450 | 1.40 |
| | | |

株式の所有者別分布状況

| 所有者 | 株主数 | 保有株式数 | 保有比率 |
|----------|--------|----------|---------|
| 個人・その他 | 3,165名 | 21,243千株 | 62.48% |
| 金融機関 | 30名 | 8,036千株 | 23.64% |
| その他法人 | 128名 | 3,657千株 | 10.76% |
| 外国法人等 | 43名 | 927千株 | 2.72% |
| 金融商品取引業者 | 21名 | 137千株 | 0.40% |
| 計 | 3,387名 | 34,000千株 | 100.00% |

■株主メモ

■事業年度

海

4月1日~翌年3月31日

■定時株主総会

毎年6月

■基準円

定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

その他必要がある場合は予め公告いたします。

■株主名簿管理人・特別□座管理機関

東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

T168-8507

■郵便物送付先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■電話お問い合わせ先

0120-288-324 (フリーダイヤル) ※土・日・祝日を除く9:00~17:00

■特別□座お取扱店

みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社

本店、全国各支店および営業所

■単元株式数

1.000株

■上場金融商品取引所

東京および大阪証券取引所(第一部) 証券コード1975

■公告方法

電子公告により行います。

http://www.asahikogyosha.co.jp ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。

※証券会社に口座をお持ちの場合、未払配当金の支払および支払明細発行以外のお手続は、お取引の証券会社にお申し出ください。 ※特別口座では単元未満株式の買取および買増以外の株式売買はできません。

※株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券をお持ちの場合は至急上記「電話お問い合わせ先」までご連絡ください



